

【東京】「一緒に頑張

張っている仲間（社員）に対して、定年後も仕事を提供することができると考えていきたい」と考えているアライアンス・コーポレーション（大田区）の今村雄治社長。「仕事を引退するま

る。

同社では従業員の定着率が高く、現在37人が活躍している。定着率が高い理由として、社内全体で気軽にコミュニケーションがとれる環境であることが大

に話すようにしている」という。

これにより「仕事をするうえで、本音で語り合える環境が社内にできている」とし、「社員が気持ちよく仕事に取り組めるようにするため

た「ジョブチェンジ

採用」といった取り組みからもみてとれる。今村社長は「長く働いてもらうためにも、人それぞれに合った仕事を提供していく必要がある」とし、さらに「うち

で活躍できる職場」を目指し、

引退まで活躍できる職場へ

の人生の仕事も提供できれば」としている。

ドライバーが時間や体力などに合わせて車両（働き方）を選べるジョブチェンジ採用を行っている

き。

今村社長は「ワイワイとした雰囲気というのとは違うが、

にも、コミュニケーションは大切」と話す。

同社の定着率の高さは、コミュニケーションを重視していること以外に、「使い捨てという感じにはしたくない」という考えで生まれ



今村社長

自分を含む社員全員が、仕事に関する疑問や問題など、どんなに些細なことでもあっても積極的

同社は、ミキサー車による生コンクリートの運搬をメインに、建築資材の運搬や搬入、冷凍車による青果の配達のほか、ジョブチェンジのための新たな事業の展開を進めている。

（三村秀寿）